

令和6年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 実施概要

目 的

平成8年に長野・新潟県境の蒲原沢で発生した土石流災害では砂防工事中の作業員が犠牲となった。この災害を踏まえ施工条件が厳しい砂防工事における安全対策について、行政と民間との共同で研究や対策に取り組んでいるところであり、これらの取り組みの成果を当研究発表会で広く共有し、技術の研鑽を図るものである。

1. 主 催：全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会
2. 開催期間：令和6年6月14日（金） 13：30～17：30
オンデマンド配信 令和6年6月24日（月）～令和6年7月19日（金）
3. 場 所：九段第3合同庁舎 11階共用会議室（東京都千代田区九段南一丁目2番1号）
4. 開催方法：対面式（安全施工管理技術研究論文、有益な取組事例賞受賞者等関係者のみ出席）
※聴講申込者に対して Web 上の限定公開ページで聴講用動画を配信。
5. 聴 講 者：砂防関係工事の安全施工技術の研鑽に賛同する者
＜一般、業界新聞社、国土交通省（本省、各地方整備局等及び砂防関係事務所）、
国土技術政策総合研究所、土木研究所、都道府県、砂防関係法人、
建設コンサルタント関係、施工業者等＞
6. 発表会次第
 - 挨拶（砂防部長）
 - 実行委員並びに論文選考委員の紹介
 - 論文選考委員長コメント
 - 砂防図書館へ論文寄贈
 - 発注者による講演
 - 安全施工管理技術研究論文発表（6編【直轄】）
 - 安全施工管理技術研究論文発表（2編【都道府県】）
 - 有益な取組事例賞の紹介（2編）
 - 今年度研究発表会の総括（国土交通省 砂防部長）
7. 実行委員及び論文選考委員

実行委員会	論文選考委員会	氏名	役職
—	委員長	小山内 信智	北海道大学 客員教授・博士（農学）
委員長	委員	岩男 忠明	水管理・国土保全局砂防部保全課土砂災害対策室長
副委員長（監事）	委員	大坂 剛	関東地方整備局利根川水系砂防事務所長
委員	委員	吉村 元吾	長野県建設部砂防課長
委員	委員	谷戸 雄紀	日刊建設通信新聞社 編集局記者
委員	—	大池 太士	砂防施工管理研究会 代表
委員	委員	山本 悟	砂防施工管理研究会 事務局長

運営事務局：国土交通省砂防部保全課、関東地方整備局河川部河川工事課、
砂防施工管理研究会、砂防関係コンサルタント懇話会

令和6年度_砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会

令和6年3月28日
論文選考委員会 選考結果

■優秀(発表)論文 : 個人を表彰

No.	地方整備局等 都道府県名	事務所名	左記機関の代表	論文名	会社名	発表者 役職・氏名	
1	北海道開発局	室蘭開発建設部 苫小牧砂防海岸事務所	苫小牧砂防海岸事務所長	樽前山火山砂防工事の内熊の沢川3号砂防堰堤建設工事における安全対策について	(株)伊藤工業	現場代理人・ 監理技術者	荒 雅秀
2	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	岩手河川国道事務所長	八幡平山系シガクラ沢外管理用道路工事における安全対策について	菱和建设株式会社	監理技術者	松原 健一
3	中部地方整備局	富士砂防事務所	富士砂防事務所長	由比深礎杭SB29における安全対策について	静和工業(株)	現場担当者	堀池 陸玖
4	中部地方整備局	多治見砂防国道事務所	多治見砂防国道事務所長	宮の沢・下在蛇抜沢砂防設備工事における安全対策について	奥田工業(株)	現場代理人・ 監理技術者	小幡 敦
5	近畿地方整備局	紀伊山系砂防事務所	紀伊山系砂防事務所長	長殿谷上流部排水トンネル工事における安全対策について	東急建設(株)	監理技術者	小寺 光秀
6	四国地方整備局	四国山地砂防事務所	四国山地砂防事務所長	山間部の厳しい制限下の環境での施工における「BIM/CIMを活用した施工計画」及び「安全対策」について	(株)姫野組 ※R6.4.1より(株)藤川土建 所属	現場代理人・ 監理技術者	田野 正博
7	福島県	県北建設事務所	県北建設事務所長	住宅背後で崩落した斜面の対策工事に係る安全対策について	(株)エヌティーエス	現場代理人・ 監理技術者	高橋 元幸
8	長野県	北信建設事務所	北信建設事務所長	戸立沢砂防堰堤工事における安全性向上の取り組み	(株)フクザワコーポレーション	監理技術者	中沢 実

■有益な取組事例 : 会社(企業)を表彰

No.	地方整備局等 都道府県名	事務所名	左記機関の代表	概要	会社名	発表者
1	中部地方整備局	多治見砂防国道事務所	多治見砂防国道事務所長	令和4年度 木曽川水系十王沢第2砂防堰堤改築工事 【キーワード:省力化、省人化】 ①3次元データをクレーン作業や川の切り回しの計画立案に使用した。現場のイメージが共有できることによりスムーズに計画立案することができた。 ②砂防堰堤コンクリート打設時に使用する鋼製型枠を、自社倉庫で組み立て現場での作業を減らすことにより、現場作業の省力化を図るとともに、降雨による現場作業中止がなくなり省力化に繋がった。	木曽土建株式会社	栗屋 圭介
2	四国地方整備局	四国山地砂防事務所	四国山地砂防事務所長	【キーワード:安全対策、遠隔監視、自動観測】 従来、現場従事者の体調情報については、個々の管理判断によるものであったが、本現場では、熱中症対策「ガードウォッチ」を活用することで、元請け側がリアルタイムかつ一元的に体調を把握でき、熱中症の発生を防止することができた。 ①位置情報、体表温度、脈拍、WBGT、転倒検知、救難信号が感知。 ②異常時には元請けにメールによる通知が可能。 ③現場従事者の末端まで体調確認ができたので適時水分・塩分補給を指示が可能となった。	株式会社 轟組	下谷 幸史